

名古屋市議団ニュース

コロナ禍乗り越える公明の提案・要望が実現！



新しく整備されたコロナ病棟を視察する市議団(東部医療センター)

2月定例会・令和3年度予算が成立

名古屋市中会では2月定例会が開かれ、令和3年度当初予算案が公明などの賛成多数で可決・成立しました。新年度予算は一般会計・特別会計合わせて2兆328億円余。本会議では公明議員による代表質問や個人質問を行い、常任委員会でも活発な予算審議が行われました。

(本会議質問は2面～4面に掲載)

公明の提案が多数実現！ 学校体育館の空調整備 はじまる

新年度予算には、これまで公明市議団が提案・要望してきた施策が数多く実現しています。学校体育館の空調整備設計費は災害時の避難所環境を向上

させます。政令指定都市初となる高齢者へのエアコン設置等助成事業はコロナ禍下の夏の猛暑による熱中症から高齢者を守ります。敬老パスの対象交通の拡大や不育症検査費用助成事業が新しく始まるほか、景気対策と消費の下支えとしてプレミアム商品券が発行されます。高齢運転者の踏み間違え防止装置設置費補助事業は一年延長されました。また、小規模事業者のための新型コロナ対策として、低金利・担保不要の成長応援資金が創設されました。

新型コロナ「第4波」に備え 病床・医療体制の充実 ワクチン接種の推進

公明市議団は新型コロナの第3波を乗り越え、第4波に備える取り組みを推進してきました。公明の提案により、コ

公明市議団はさらなる新型コロナ対策に全力！

ナ患者の受け入れ病床を増やすための東部医療センター旧東病棟の改修が完了し、4月から運用が始まりました。自宅療養者のための生活必需品が入った緊急療養支援セットや配食サービスの支給対象を同居家族まで拡大するとともに、在宅や宿泊型療養施設の患者を往診やオンライン診療など医療につなげるための医療提供モデル事業が始まりました。また、新型コロナワクチンの速やかな接種を要望し、模擬訓練や医療従事者への接種状況の視察を行いました。(ワクチン接種については6面参照)

速報！

市バス・地下鉄に 抗ウイルス加工

市議団の強い要望受け早期着手

市交通局は新型コロナ対策として市バス・地下鉄車両内の抗ウイルス加工を早期に着手しました。これは公明市議団の要望に応えたものです。全車両の工期は3週間短縮され7月末に完了します。市議団は市民から車両内への抗ウイルス加工の要望を受け、なごや観光ルートバス・メーグルとあわせて市に提案してきました。

主な内容

- [2面・3面] ●2月定例会代表質問●個人質問
- [4面] ●2月定例会●新型コロナウィルス対策支援教えて！コーナー
- [5面] ●東日本大震災から10年＝被災地へ更なるエールを送る＝●実績紹介
- [6面] ●新型コロナワクチン教えて！コーナー

感染防止は基本を徹底することから

- マスクの着用 ●三密回避 ●しっかり手洗い

感染リスクが高まる5つの場面

- ①飲食を伴う懇親会等 ②大人数や長時間におよぶ飲食 ③マスクなしでの会話
- ④狭い空間での共同生活 ⑤居場所の切り替わり

公明・代表質問 (2月定例会)

公明党名古屋市区議員団は2月定例会において、新型コロナウイルスを乗り越え、誰一人取り残さない、誰もないがしろにしない、希望ある名古屋を目指し代表質問を行いました。

はじめに新型コロナウイルスにおける受診控えが顕著になるなか、「がん検診の受診率向上」および総合的な「がん対策の推進」について質問しました。あわせて新型コロナウイルスで自殺者数が増加していることから「自殺対策（いのちの支援）」「うつ病

2月 定例会質問から

AIを活用したひとり親家庭からの相談について

ひとり親家庭からの生活上の様々な問題に対して必要な時に必要な支援につながるよう、ひとり親家庭からの相談にAIを活用した新しい支援システムを導入していくべきではないかと提案しました。市からは他都市のAIを活用した先進事例などを参考にして適切な支援を届けるための効果的な方策を検討していくとの答弁がありました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

ひきこもり支援について

対策」について市の対応を質しました。他にも、若年層への経済的支援としての「奨学金返還支援制度の創設」、年々増加傾向となっている「不登校児童生徒への支援」について質問しました。また、国によるデジタル社会の推進を受け、高齢者や障がい者などすべての人がデジタル化の恩恵を受けられるよう、情報格差（デジタル・デバイド）解消のための取り組みについて質し、市からは「高齢者や障がい者にもわかりやすくデザインされたデジタルサービスの提供や、デジタル機器の基本的な操作を学習できる講座を実施する等、情報格差に配慮していく」との答弁がありました。その他、

コロナ禍で深刻化しているひきこもりへの支援を充実させるため、実態調査を実施し、調査結果も含めた課題の洗い出しを進め、きちんとした方針・計画を持ったひきこもり支援体制を構築していくことが必要であり、より多くの相談に対応するためSNS等を活用した相談支援の仕組みを検討するべきではないかと質問しました。市からは、実態把握に努めた上でひきこもり支援の方針・計画を策定し、支援体制をしっかりと構築するとともにSNS等を活用した相談支援の導入に向けた検討を進めるとの答弁がありました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

中小事業者への環境行動の促進について

学校体育館のエアコン設置について、新型コロナウイルススワクチン接種事業について質問しました。最後に、本市も2050年に向け脱炭素社会（カーボンニュートラル）の構築を宣言するよう要望し、市から「脱炭素社会を目指す方針や、グリーンリカバリーの考え方を反映した実行計画に改定することと合わせ、「再生可能エネルギー100%電力の導入」「産業分野における水素潜在利用等の調査」「住宅等の低炭素化促進補助」など、できることから順次取り組んでいく」との答弁がありました。

SDGsの取り組みへの理解が大企業では大きく進んでいることが感じられるようになってきているが、中小企業へはまだ十分に浸透していないことが課題となっていることから、中小事業者におけるSDGsの取り組みを促すために、本市としての進め方についてたずねました。市からは、来年度から事業者のSDGsの視点を踏まえての環境に配慮した取り組みを支援する「なごやSDGsグリーンパートナーズ」の認定制度を設けるとともに、優れた取り組みを行っている事業者には、なごや環境大学において講座を開講して頂く事がしめされました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画



本会議中継動画

雨水流出抑制の普及・啓発について

近年、激甚化・頻発化する豪雨による浸水被害を軽減するために、透水性舗装や浸透雨水マスおよび雨水貯留タンク等を設置するなどの「雨水流出抑制」の重要性をうったえ、雨水流出抑制施設を市の公共施設に積極的に取り入れるとともに、市民・事業者への設置助成制度導入も検討して雨水流出抑制の普及・啓発のさらなる推進を求めました。市からは、他都市の事例を参考にしながら施設効果の見える化を通して市全体で検討して参りますとの答弁がありました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

妊産婦に対する移動支援について

新しい生活様式を取り入れた日常生活の中で、妊産婦さんが病院等へ外出する際に密になりやすい公共交通機関の利用に不安を感じる方も多いことから、妊婦へのタクシークーポンの配布を提案しました。市からは、緊急に医療機関等を受診する必要がある場合には公共交通機関での移動は難しいことから、移動にかかる支援があれば妊婦にとって心強いものであることから検討したいとの答弁がありました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

Aーを活用した災害時における避難支援について

災害時において掛け替えのない命を一人も残さずに救うために、Aーを活用し避難所の状況について情報提供する仕組みを作って避難支援をすることを提案しました。市からは、避難所の情報については令和3年の出水期を目的に、スマートフォンで確認できるツールを作成し運用開始をしていくとの答弁がありました。また、Aーの活用も国等の動向を注視し検討して行くとの答弁しました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

コロナ禍で困難を抱える女性への支援について

コロナ禍が飲食業や小売業など女性の就労者が多い業種を直撃し厳しい就労状況となっているうえ、DVの増加や自殺者の急増も報告されていることから、複合的な困難を抱えた女性を孤立させず適切な支援につなげるための対策が必要であることをうったえました。市からは3月22日から6月30日までメール相談を臨時開設するとともに、夏頃に女性を対象として就労や生活への影響や気持ちの変化などの調査を行っていくとの答弁がありました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

消火栓を活用した応急給水の充実にについて

1年前に本会議で提案した消火栓を活用した災害が発生し断水した時の応急給水について、消火栓の詳細な運用方法について進捗状況をたずねました。上下水道局からは、住居から1kmの範囲内で応急給水を受けることができる限りの地域についても、消火栓からの給水を実施することおよび、できる限り要配慮者に配慮した消火栓の給水場所を選定することに加え、消火栓の給水場所も上下水道局ウェブサイト追加掲載することなど丁寧な対応をしていくとの答弁がありました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

子育て家庭に対する父親への支援について

男性の育休促進が期待される中で、妻の妊娠・出産等によって生じる父親自身の生活環境の変化に関する悩みやうつ状態に対応していく必要があることを訴えました。市からは、産後の体調不良やストレスに苦しむ母親をサポートするために、出産育児に関する知識や母親の体調の変化などについての父親向けの講座や相談をオンラインで実施していくとの答弁がありました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

A-1によるいじめ予測分析システムについて

深刻化する学校でのいじめ問題に対し早期発見、早期対応するために、いじめ報告書などのデータをA-1が分析し、いじめが深刻化するリスクを表示する「いじめ予測分析システム」を本市に導入すべきではないかと提案しました。市教育長は、A-1を活用した先行都市の事例を参考に、いじめ防止等の対策を検討して行くとの答弁をしました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

2月補正予算議案質疑 市バス・地下鉄車両の抗ウイルス 加工早期着手について

2月定例会に交通局から新型コロナウイルス対策としての市バス・地下鉄車両への抗ウイルス加工のための補正予算案が提案されたことから、早期実施を提案してきた公明市議団として議案質疑を行いました。①補正予算を提案した理由、②年度内に加工される車両数と短縮される工期、③加工を実施した車両の表示とPRについて質問し、交通局長からは、お客様の安心のためにできる限り早く実施するための補正予算であり、年度内に市バス23両・地下鉄桜通線10編成50両を実施すること、そして全体として3週間の工期短縮となるとの答弁がありました。また、加工済車両にはステッカーを貼付することを明らかにしました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画



公明党
名古屋版

新型コロナ対策支援 教えて！コーナー⑤



公明党の提案が実現しました!!

コロナ禍の女性のための メール相談を開設中です

コロナ禍で様々な困難を抱える女性に、安心して相談いただけるよう、女性のための総合相談にメール相談を臨時で開設します。

- 受付期間：令和3年3月22日から6月30日まで
- 相談できる方：名古屋市内に在住・在勤・在学の女性（性自認が女性の方）
- 相談できる内容：夫婦関係、暴力、家族のこと、仕事や暮らしのことなど
- 相談料金：無料（利用に係る通信料は自己負担）
- 詳しい相談方法等は市ウェブサイトでご確認ください。



女性のためのメール相談

◆メール相談は「名古屋市男女平等参画推進センターイーブルなごや相談室」がお受けします。女性の専門相談員などが電話での相談にも応じています。

女性のための総合相談 **052-321-2760**

相談時間：月・火・金・土・日10～16時
（水のみ10時～13時・18時～20時）

※詳しくはイーブルなごやのホームページをご確認ください。



イーブルなごや

成長応援資金が創設されました （小規模企業向け新規小口融資）

新型コロナの影響でお困りの小規模企業者を対象とした、第三者保証人・担保不要で低金利の新しい融資制度です。令和3年度の実施となります。

●対象者：

- ①小規模企業者（従業員数が商業・サービス業は5名以下、製造業その他は20名以下）
- ②6か月以上引き続き同一事業を営んでいること
- ③申込時に市内に事業所地があること
- ④現に民間金融機関からの借入れがないこと

●融資限度額：300万円

●資金使途：運転資金

●融資期間：3年以内（据置期間1年以内）

●貸付利率：1.3%

●担保・保証人：不要（経営者保証のみ）

●その他：原則申込受付後5営業日以内に融資決定 融資後に伴走型の経営支援を実施

●問合せ先：公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社

融資課 **052-735-2123**



名古屋市小規模事業
金融公社

申込期間が再延長!! 6月まで 新型コロナの影響で収入が減少した方への生活支援

緊急小口資金貸付

緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に、貸付を行います。

【対象者】新型コロナウイルスの影響で収入の減少がある世帯。

【貸付上限額】20万円以内

【据置期間】1年以内

【償還期限】2年以内

【貸付条件】無利子・保証人不要

※まずは電話を。区によっては予約制になっているところもあります。郵送による申請書の取り寄せおよび郵便申請も受け付けています。申請後6日ほどで振り込まれます。

【ご相談・お問合せ先】お住いの区の社会福祉協議会へ

総合支援資金

生活再建までの間に必要な生活費用の貸付を行います。

【対象者】新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により日常生活の維持が困難となっている世帯。

【貸付上限額】（2人以上）月20万円以内／（単身）月15万円以内 ※原則3か月以内の貸付

【据置期間】1年以内

【償還期限】10年以内

【貸付条件】無利子・保証人不要

※特別処置により、償還時において、なお所得の減少が続く住民税非課税世帯の償還を免除する場合があります。



社会福祉協議会

住居確保給付金（※最長12ヵ月まで拡充）

新型コロナウイルス感染拡大の影響等で収入が減少し、住居を失っているまたは住居を失う恐れのある方に対し、賃貸住宅の家賃の支給等の支援を行います。（不動産業者または大家等への口座へ直接振り込まれます。）

【支給対象者】

- やむを得ない休業等により収入が減少したこと
で経済的に困窮し、住宅を失っている又は住居を失う恐れがあること
- 申請日の月の、申請者及び申請者の世帯全員の収入の合計額が収入基準額以下であること。
- 申請日における世帯全員の預貯金の合計額が下表の基準額を6倍した額（ただし、100万円を超えないものとする。）以下であること。
- その他、国や地方自治体の実施する雇用施策による給付等を申告者と世帯構成者が受けていないこと、などの要件があります。詳しくは該当する下記サポートセンターにお問合せ下さい。

【支給額】右表の家賃額を上限とする 【支給期間】原則3ヵ月（条件により2回の延長が可能。最長9ヵ月。更に所定の条件を満たした場合に3ヵ月、計12ヵ月まで延長）

【ご相談・お問合せ先】お住いの区を担当している仕事・暮らし自立サポートセンターへ

■収入基準額の例（世帯人数が1人～5人の場合）

世帯人数	基準額	家賃額(上限)	収入基準額
1人	84,000円	37,000円	121,000円
2人	130,000円	44,000円	174,000円
3人	172,000円	48,000円	220,000円
4人	214,000円	48,000円	262,000円
5人	255,000円	48,000円	303,000円



名古屋市健康福祉

東日本大震災から10年 被災地へ更なるエールを送る

東日本大震災から10年目となる令和3年3月11日午後2時46分、名古屋市会は本会議場において毎年開催している震災犠牲者を追悼する議員総会を開き黙祷を捧げました。名古屋市は震災発生直後から甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市に対し、行政によるまると支援を行うとともに友好都市協定を結ぶなど交流を深めてきました。震災10年にあたり、津波に流されなかった「奇跡の一本松」の希



「提供：陸前高田市」



陸前高田市のHP

少な後継樹が友好の証として名古屋に贈られ東山動植物園に植樹されました。

実績紹介

その1

祖父母世代をサポート 孫育て応援ブック

名古屋市は3月より、祖父母世代の手助けに役立ててもらおう「孫育て応援ハンドブック・なごまご」の配布を始めました。ハンドブックでは「今と昔の育児のちがい」と題し、「妊娠中の食事」や「抱っこ」などについての常識の変化を解説しています。また、市が聞き取った父母世代と祖父母世代の双方の意見も掲載しています。公明市議団は2019年9月の定例会で、子育て世代を応援することで祖父母にとっても新たな生きがいを持てるような「孫育てハンドブック」の発行を提案しました。ハンドブックは約8500部を区役所や地域子育て支援拠点などで無償配布しており、市ホームページからダウンロードすることもできます。



孫育て応援ブック
なごまご

実績紹介

その2

高齢者への エアコン設置等助成が 実現！

名古屋市では令和3年度に政令市では初となる高齢者へのエアコン設置等助成事業を開始します。住居にエアコンが設置されていない65歳以上の高齢者がいる住民税非課税世帯と同一生活保護世帯に対して71,000円を上限とし、本体代と工事費を市が直接購入店舗に支払います。申請期間は令和3年4月12日から同年9月末日まで。故障して動かないエアコンの修理代等も助成対象となります。公明市議団は令和2年9月定例会においてコロナ禍における熱中症対策として強く提案しスピード実現につなげました。



©KOMEI NAGOYA

法律相談 要予約 ■毎週月曜日(13時～15時) ■第一金曜日(13時～15時) ホームページ <http://www.komeinagoya.jp/>

【発行者】公明党名古屋市議員団(名古屋市中区三の丸三丁目1-1 市役所公明党控室 TEL052-972-2051 FAX052-972-4189)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
SDG11 持続可能な都市づくりを推進しよう



市議員HP



新型コロナワクチン接種始まる

医療従事者優先・高齢者等は4月14日から〈安全に〉〈速やかに〉〈確実に〉

接種に関する要望・視察活動を展開

市議団はワクチン接種が安全・迅速・確実にされるよう要望してきました。また、3月7日に行われた市の模擬練習や医療従事者への接種状況などを視察しました。

市民への情報発信が重要

ワクチン接種は世界規模で同時に行われているため国の確保量や自治体への供給量は流動的です。ワクチンの効果や健康への影響そして接種状況についての市民への情報発信が重要となります。市議団は市に対して十分な情報発信を要望するとともに、市内在住外国人のためにコールセンターや接種会場での多言語対応を実現しました。



医療従事者へのワクチン接種を視察する市議団(西部医療センター)

ワクチン接種の流れ



- 1 名古屋市から案内とクーポン(接種券)が届く
- 2 電話やインターネットで会場を確認して予約
- 3 クーポン・予診票・本人確認書類をもって、会場へ

ポイント

- 接種回数は2回(米ファイザー製の場合、2回目は3週間後)
- 接種後、しばらく待機。万が一、副反応が起きたら、その場で治療をします。

名古屋市ウェブサイト「新型コロナワクチン接種について」



名古屋市

Q1 誰が対象ですか?

- A 国では16歳以上をワクチンの接種対象とし、優先接種順位を定めています。市は接種対象者全員に順次クーポン券を郵送します。(接種優先順位の詳細は市ウェブサイトを参照)

順位	接種対象者
1	医療従事者等
2	高齢者(2021年度中に65歳に達する、昭和32年4月1日以前に生まれた方)
3	高齢者以外で基礎疾患を有する方や、高齢者施設等で従事されている方
4	その他の方

Q2 いつ接種できますか?

- A 市では4月14日から一般市民へのワクチン接種を始めます。まず中区の80歳以上高齢者への優先接種から始め、その他の高齢者への接種は5月以降になる予定です。それ以外の方の接種はワクチンの供給状況等を見ながら決めていくとしています。

名古屋市内のワクチン接種スケジュール

	3月	4月	5月
中区の80歳以上	3月29日 クーポン券発行	4月1日 優先接種 予約期間	4月14日~ 5月9日 優先接種期間
その他の65歳以上		4月19日~26日 クーポン券発送	5月12日~ 通常接種
16~64歳	6月ごろクーポン券を発送。予約時期、接種時期など未定。年内の接種完了を見込む		

Q3 どこで、どのように接種できますか?

- A 一般市民の方は医療機関で行う「個別接種」または市が設置する会場での「集団接種」のいずれかを選べます。接種には予約が必要です。集団接種は市のコールセンターで会場の確認と予約ができます。個別接種は接種ができる医療機関を厚生労働省のコロナワクチンナビで確認のうえ予約してください。

集団接種 名古屋新型コロナウイルスワクチンコールセンター

接種会場に関するお問い合わせ・集団接種会場での接種予約(午前9時から午後5時30分平日のみ) **050-3135-2252**
※クーポン券を受け取った後でないと予約できません。
※予約開始日は会場によって異なります。

個別接種 厚生労働省コロナワクチンナビ

新型コロナワクチンが接種できる医療機関を確認することができます。医療機関には直接予約してください。



厚生労働省

Q4 接種するには何が必要ですか?

- A 市から送られるクーポン券と予診票(記入しておく)および本人確認書類(運転免許証、健康保険証、マイナンバーカードなど)が必要です。
注意! 接種は無料で受けられます。接種を利用した詐欺には十分ご注意ください。



消費者庁チラシ

Q5 ワクチンの効果や副反応などの問い合わせ先は?

- A 国や県ではお問い合わせ内容に応じたコールセンターを開設しています。

厚生労働省電話相談窓口

ワクチンの施策等についての一般的なお問い合わせ
●新型コロナワクチンコールセンター
0120-761-770
(平日・土日・祝日午前9時から午後9時まで)



厚生労働省

愛知県新型コロナウイルス感染症健康相談窓口

ワクチン接種の効果や副反応などに関するお問い合わせ
●平日・土日・祝日 **052-954-6272**
(午前9時から午後5時30分)
●夜間・休日専用 **052-856-0315**
(平日:午後5時30分から翌日午前9時まで。土日・祝日:24時間体制)



愛知県